

ソフトプレス技術で世界をつなぐグローバル パーツサプライヤー

千代田インテグレ株式会社は、創業以来67年にわたり蓄積してきたノウハウと、ソフトマテリアルにおける高精度な加工能力で、電子部品だけでなく自動車産業にも貢献してきた。



「米国や欧州など先進国での拠点拡大を目指します」

千代田インテグレ株式会社
代表取締役会長兼社長
小池 光明

1955年創業の千代田インテグレは、日本流を押し通すのではなく、投資先の国を尊重しながら海外との関わり方を見極め、専門性をもってソフトマテリアル加工事業を切り拓いてきた。



アメリカ・オハイオ州の工場

「現地のルールや規制を遵守することはもちろんのこと、現地の環境に順応していくことも必要です。それが我々の強みなのです」と語るのは、代表の小池光明氏。

海外進出を目指す企業にとって、単独でやるか、他社と組むかは重要な判断であるが、千代田インテグレではそこを慎重かつ緻密に行ってきた。

「我々は、海外市場に進出する際、パートナーとの提携をせず、自分たちの力で進出することを選びました。どのグループにも属さず、

完全な独立企業であり続けることは弊社が持つもうひとつの強みでしょう」

同社の差別化要因の1つは、社長が説明するように、独自の加工技術にある。



工場環境

「我々のソフトプレス技術は、ステンレス板などの硬い素材に比べ、はるかに難しいソフトマテリアルの加工・切断を高精度に行うことができます。これを実現する技術がなければ、お客様の最



クリーンルーム

終製品もうまくいかないのです。世界15カ国に24の営業所と18の工場を持ち、8万種類の製品を扱っていますが、その9割はお客様が求める仕様に合わせて設計されています」

豊富なグローバル経験と国際的な優秀な人材のみを採用する方針で、小池氏は米国と欧州へさらなる進出をめざしている。